

研究課題「全国健康保険協会のデータを活用した健診・レセプトデータ分析に関する研究」 に関するお知らせ

承認番号： 第 M2020-385 番

研究期間： 医学系倫理審査委員会承認後から西暦 2028 年 3 月 31 日

研究責任者（本学）：

東京科学大学 M&D データ科学センター 生物統計学分野 教授 高橋邦彦

主たる共同研究機関および研究代表者：

慶應義塾大学・スポーツ医学研究センター・教授／所長 勝川史憲

<研究の目的>

研究目的：本研究では、全国健康保険協会の保有する健診・レセプトデータを用いて、特定健診・保健指導による医療費適正化の推進に向け、医療費適正化において重要度の高い疾患を明らかにすることを目的としています。さらに重要度の高い疾患の発症と関連する要因を健診内容から検討し、特定保健指導が医療費適正化への効果を明らかにすることを目指します。

研究方法：全国健康保険協会に加入している健康保険組合の被保険者および被扶養者のデータ（約 4000 万人）を対象として、医療費、生活習慣病の現状と年次推移、保健指導にかかる費用と改善の状況を評価します。

研究期間：実施承認日～2028 年 3 月 31 日

<対象となる患者さん>

「全国健康保険協会」によって提供される 2015 年 4 月～2020 年 9 月に取得された全国健康保険協会に加入している健康保険組合の被保険者および被扶養者の方。

本学での患者さんは対象となりません。

<研究に用いる試料等の保管>

全国健康保険協会によって既に匿名化され、全国健康保険協会との委託契約を結んだ研究者のみに提供される加入者基本情報、レセプト情報、健診結果等の情報を用います。お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除された匿名化された情報のみが分析に用いられます。

個人情報の匿名化は全国健康保険協会が厳重な体制で行われ、管理・保管され、また分析についても全国健康保険協会に設置されたセキュリティ管理のなされたシステム上でのみ、分析します。そのため本学には個人ごとの情報は保管いたしません。

<本研究の利益相反>

研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会において審議され、承認されています。

<研究組織>

慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター 勝川史憲

慶應義塾大学 看護医療学部 山内慶太

慶應義塾大学 医学部内科学（腎内代） 上妻嵩英

東京医科大学 医学部医学科 菅野義彦
学校法人川崎学園 川崎医科大学健康管理学教室 神田英一郎
東京大学大学院 医学系研究科 佐々木敏
医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 山田陽介
全国健康保険協会 佐井誠・馬場武彦・井原陽介
東京科学大学 M&D データ科学センター 高橋邦彦・安齋達彦・西田優紀
慶應義塾大学 予防医療センター 伊藤裕
中外製薬株式会社・臨床開発本部バイオメトリクス部 植村直紀

<問い合わせ先>

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

照会先：

東京科学大学 M&D データ科学センター生物統計学分野 高橋 邦彦（研究責任者）
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 電話：03-5280-8625

研究事務局：

慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター 勝川史憲
〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 電話：045-566-1090

苦情窓口：

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ
電話：03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。